

ここに あったか あったかいまち

区にはさまざまな方が暮らしています。その年齢や性別、国籍、性的指向、障害の有無など、各人の背景や価値観は多種多様。今号では、そんな多様性を認め、受け入れる「あったかい中野」を紹介します。



◀データは主に中野区統計書を基に作成



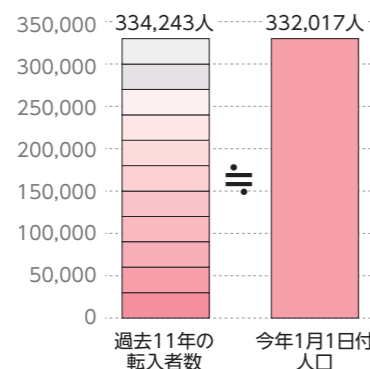
笑顔いっぱい☆
中野で出会ったみなさん

地方出身者にやさしいまち

都心に近く通勤や通学、買い物などの利便性が高いのが特徴。毎年多くの方が転出入し、誰でもあたたかく受け入れる風土があるまちです。

流動性の高さが特徴 転出入者数はそれぞれ毎年約3万人

過去10年の転出入者数の平均はそれぞれ約3万人。中野区の人口は約33万人のため、約11年で区民が入れ替わる計算です。人口の流動性が高いのが中野区の特徴と言えます。

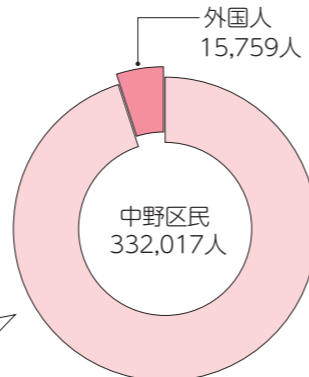


多くの文化が共生するまち

区内で暮らしている方の国籍数は110超と、世界の国の数の半分以上。中でもアジア圏の方が多く中国、韓国または朝鮮、ネパール、ベトナムの国籍を持つ方が全体の70%超を占めています。区は、やさしい日本語や多言語対応タブレットによる案内などに取り組んでいます。

区全体の約5%は外国籍

今年1月1日現在の区の人口は332,017人。うち外国籍の方は約5%、15,759人です。



20人に1人は外国人

困った時に助けあえるまち

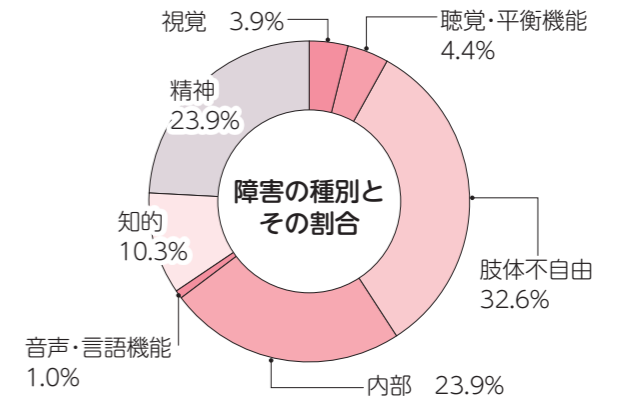
区は支援が必要な全ての方を対象にした地域包括ケア体制の実現を進めています。町会による見守り訪問や区民団体によるユニバーサルデザインマップの作成など、地域の支えあい活動が盛んです。



◀高齢者や障害者の自宅を訪問

障害のある方は 区民の25人に1人

2020年度の障害者手帳の所持者数(※)は13,282人で、同年1月1日現在の人口比で約4%。障害の種別はさまざま、聴覚や内部機能など、見た目からは気づきにくい障害のある方も多くいます。(※)身体障害者手帳、愛の手帳、精神障害者保健福祉手帳の所持者数の合計



多様な価値観を尊重するまち

区は、2018年8月から「中野区パートナーシップ宣誓」制度を実施。多様な生き方や価値観を受け入れる地域社会の実現を目指しています。

パートナーシップ宣誓とは

お互いを人生のパートナーとして相互に協力しあい、同居して共同生活を行うことを宣誓した同性の二人に宣誓書等受領証を交付する取り組み



▲詳しくは区へ

4年で118組がパートナーに 中野区パートナーシップ宣誓

累計118組の同性カップルが区で宣誓しています(8月31日現在)。宣誓により、病院での面会の配慮や家族割引が受けられたという声がありました。



◀宣誓第1号の同性カップル。手にしている受領証(A4判)は当事者の方の意見を受け、2021年から携帯しやすいカード型に変更

ここに
あった!

あったか なかのエピソード



スーパーの店員さんが売り場を案内してくれた(視覚障害者の男性)

近所の方が定期的に声を掛けてくれるので安心できる(高齢単身世帯の女性)

まちで聞いたエピソードから抜粋

多様な当事者の方に話を聞きました。インタビューは次のページへ